

社名も変更し、自社の技術・ノウハウを活かせる体制を構築！

会社名 ナカムラマジック株式会社
 所在地 長野県上伊那郡箕輪町三日町493-1
 従業員 44名
 資本金 7,500万円
 売上高 非公表
 業種 金属塑性加工、精密製品組立、省力化機械設計製作、各種研究開発

Nakamura
MAGIC®

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- “ナカムラマジック”と称する高い加工技術を有するものの、その技術力をヒートシンクの売上拡大には活かしきれていない状況が続いていた。
- 市場の好機を捉えて、ヒートシンク事業を軌道に乗せていくための戦略構築が必要な状況であった。

支援を受けてできるようになったこと

After

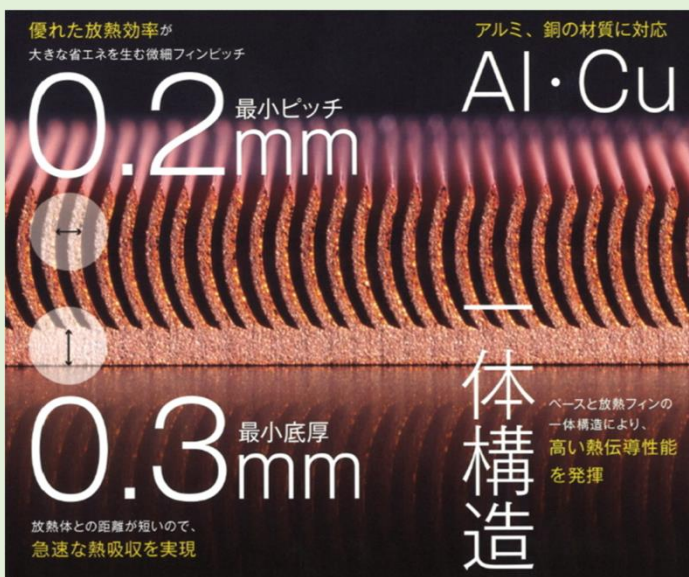
- 顧客ごとに進捗や契約状況、関連特許、開発を検討する体制を構築でき、またそれらを全て束ねたうえで全体としての事業戦略・知財戦略を整理できるようになった。
- 社名を”中村製作所”から”ナカムラマジック”へ変更し、ブランディングを推進する基盤を整えた。

今後の事業展開の展望

Future

- ヒートシンク事業のさらなる付加価値向上に向けたビジネスモデル転換を進めていく。
- 海外展開も含めた販路の拡大を進めていく。

重点支援を受けた事業や商材



当社が長年積み重ねてきた技術・ノウハウ群を総称して”ナカムラマジック”と呼んでおり、その一つとしてオーロラフィン技術がある。

この技術の結晶である”マジックヒートシンク”は、従来のヒートシンクと比べて軽量・小型化を実現できることに加え、高い放熱効率を保持している。これは、当社ならではの微細加工技術によって実現できた性能である。さらには、切削屑の少なさから、環境面でも優位性がある。

ヒートシンク市場は拡大が期待されており、適用分野として電気自動車や航空機、ロボット、パワー半導体等が見込まれる。

【出典】ナカムラマジック株式会社ホームページ

<https://www.nakamuramagic.co.jp/nakamuramagic>



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略策定	ヒートシンクに関する事業を進めていくための戦略・プランニングの立案が急務である。
知財戦略策定	従前より一定の知財活動は実施していたが、ヒートシンク事業を拡大していくにあたり、改めて知財戦略を見直す必要がある。
共同開発における知財・営業秘密管理	重点支援前に取り組んだ関東経済産業局の「令和2年度チーム伴走型知財経営モデル支援事業」において、残課題として指摘があった、自社知財の確保や契約、営業秘密管理面からの体制整備が必要である。
マーケティング・ブランディング戦略	ヒートシンクの販路開拓に向けたマーケティングおよび当社全体のブランド戦略を検討する必要がある。
組織体制	策定する事業戦略を実行すべく、開発・知財・販売・マーケティング等の側面から体制強化が必要である。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略策定	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ごとに事業の状況を分析し(個別戦略)、さらにこれを統合して全体としての事業戦略(全体戦略)に昇華させて進められるようになった。ヒートシンク性能評価の標準化推進方針に係る判断指標も獲得。 	中小企業診断士 弁理士 標準化専門家
知財戦略策定	<ul style="list-style-type: none"> 今後のヒートシンク事業の展開を意識した知財戦略を立案できるようになった。 他社知財も分析しながら、戦略的に自社が確保すべき知財を分析できるようになった。 	弁理士
共同開発における知財・営業秘密管理	<ul style="list-style-type: none"> 契約時における具体的な留意点を理解し、実行できるようになった。 営業秘密管理の仕組み整備にも着手した。 	弁理士 中小企業診断士 知財戦略AD
マーケティング・ブランディング戦略	<ul style="list-style-type: none"> “ナカムラマジック”に込めるブランドアイデンティティを明確化し、社名も”中村製作所”から”ナカムラマジック”に変更した。 	ブランド専門家 中小企業診断士 海外知財PD
組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 当社の強みを維持・強化すべく、職務発明規程を見直した。 	企業OB

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛宗則

活用専門家:中小企業診断士、ブランド専門家、企業OB、標準化専門家、海外知財PD、知財戦略AD

知財総合支援窓口担当者:長野県知財総合支援窓口 小沢益也

PO(プログラムオフィサー):中隆廣